

## 海外安全対策情報（令和4年（2022年）1～3月期）

### 1 治安情勢・一般犯罪の傾向

#### (1) NSW州

治安情勢は安定しており、NSW州全体の犯罪発生率も前期同等もしくは減少傾向にある。一方、地域によっては特定の犯罪が急増しており、注意が必要である。

顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

##### ○シドニー地域

Inner West：強姦（+40.4%）

○Coffs Harbour - Grafton：建造物侵入（+41.7%）

○Mid North Coast：暴行・傷害（DV関連）（+17.7%）、  
住居侵入（+26.4%）、建造物侵入（+52.8%）

○New England and North West：窃盗（車上ねらい）（+37.1%）

○Richmond - Tweed：暴行・傷害（DV関連）（+11.7%）、  
窃盗（車上ねらい）（+37.0%）、器物損壊（+10.3%）

#### (2) 北部準州

治安情勢は安定しているが、政府によるコロナ規制の緩和に伴い、ほとんどの罪種で犯罪発生率が増加傾向にある。特に侵入窃盗や乗物盗の増加率が20%を超えており、自宅や車を離れる際は短時間でもこまめに施錠するなどの防犯対策を徹底する必要がある。

### 2 邦人被害

今年に入り暴力的なデモの発生はみられないものの、昨年シドニー市内で頻発したロックダウン反対デモは警官隊との衝突にまで発展しており、デモを認知すれば、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

ここ最近においてシドニーでのテロの発生はないが、昨年12月にはIS（イスラム国）の影響を受けたシドニー郊外在住の男がテロ関連の罪で逮捕されるなど、当地におけるテロの潜在的脅威は存在している。また本年4月中はイスラム教徒が日の出から日没まで断食を行うラマダン月に当たるところ、毎年、このラマダン月前後に世界中でテロが多発しており、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

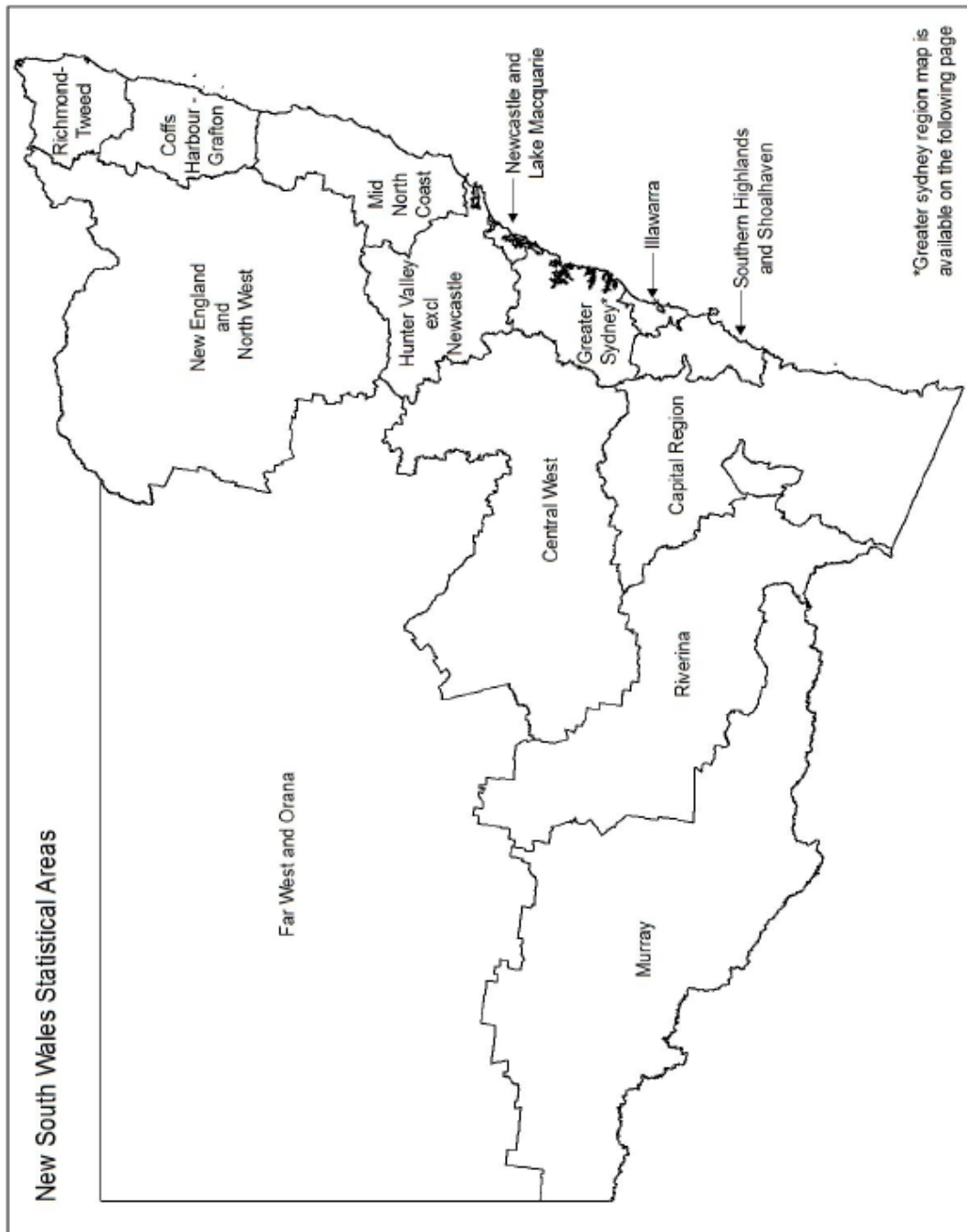
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

## 5 日本企業の安全に関わる諸問題

昨年中は特段の動向は見られなかったものの、令和2年（2020年）中、シドニー市内において、我が国に対する抗議デモが2件（慰安婦問題、反イルカ漁）行われており、これら団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2021年1月から2021年12月までの1年間（北部準州は2021年2月から2022年1月までの1年間）と前年同期との増減率）。

**APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS**



**APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS**

